

令和7年度 学校法人静岡理工科大学 星陵中学校・高等学校 自己評価 学校関係者評価

どのような学校を目指すのか		建学の精神「人をつくる」 校訓「誠実な心でことにあたる 友情の和を広げる 厳しさを自ら求める」の実践をとおし、比較優位性の高い「選ばれた学校」となる。													
基本方針		1 健全な運営体制を維持する。 2 学園力を集結させる。 3 個別最適化学習を充実させることで、進学実績などの成果において他校と差別化を図り、選ばれた学校を目指す。 4 長期計画・長期構想（2030&FORWARD）を実現させる。 5 アントレプレナーシップ（起業家的行動能力）を育成する。													
昨年度の成果と課題		本年度重点目標		本年度重点施策		達成状況									
◎学園の健全な運営体制維持に向けた募集活動を展開する ◎教員一人ひとりの教科指導力・受容指導力を向上させる ◎星陵の10年後の在り方（あらまほしき姿）を追求する ◎アントレプレナーシップ能力を育成する ◎教職員の相互成長と絆を深め、更に愛される学校となる ◎レバレッジ度（学力伸長度）を分析し、広報する ◎法人内連携と星陵の教育との連携を発信する		【入口目標】目標入学人数を確保する活動を展開 【中身目標】競争優位性を築くための戦略を構築する 法人内連携教育強化 個別最適化学習のための高質な授業・講座を追求する 業務改革、業務DX化を検討する 「共に成長」「果敢に挑む姿勢」の教育を展開する 【出口目標】地域公立高校を凌ぐ進学校となる		・目標定員を必達するための募集活動を展開する。 ・学園の知名度・ブランド力を向上させる。 ・進路実績の向上を図る。 ・アントレプレナーシップの土台を育む。 ・探究活動の検証と改善を行う。 ・「共に成長」の学校文化と「挑戦する姿勢」を築き育成する。 ・法人内連携と星陵の教育との連携を強化・発信する		※評価は、以下の基準に従い、各項目ごとに5段階で客観的に評価してください。 5 : 最も良好 4 : ほぼ良好 3 : 普通 2 : やや不良 1 : 不良									
評価項目	具体的目標	具体的方策	自己評価		成果・次年度への主な課題	学校関係者評価						平均			
			評価	平均		評議員A	評議員B	評議員C	同窓会	地域住民	地元企業関係者		教育関係者		
総務部	健全な運営体制維持のため、目標定員を確保する。	情報収集力と分析力を高めてニーズを的確に捉え、戦略的広報を推進する。	4	4.0	志願動向を多角的に分析し、広報戦略を最適化し定員を確保した。	5	4	5	5	5	5	5	4.9		
	学習環境の質を高め、学校満足度を向上させる。	学校行事の教育効果を検証・再構築し、CXの向上と帰属意識を高める。	4		各課で満足度向上に努めた成果を、教育環境の強みとして発信した。										
入試広報課	高等学校学則定員400名、中学校学則定員60名の入学者を獲得する。	ブランドイメージを創造し、星陵の魅力と強みを的確に伝える。	4	4.0	行事の運営上の課題と教育効果を検証し、質的向上と改善に取り組んだ。	5	4	4	5	5	5	5	4.8		
		競争優位性を築くために新たな広報手法を開発し、発信する。	4		先進教育の充実と業務効率化を図り、環境整備に努めた。										
総務課	学校行事や式典の目的・内容・方法を見直し、検討、実施する。	式典を厳粛なものとし、行事など状況に応じて他課と連携し円滑に運営する。	4	4.0	中学・高校ともに学則定員の入学者を獲得した。	5	5	4	5	5	5	5	4.9		
		本校の魅力を伝える広報媒体を作成し、地域に発信する。	4		学校説明会等を丁寧に運営し、星陵に関する正しい情報を伝えた。										
図書課	図書コーナーを情報発信基地として、生徒のキャリアデザインや探究活動に繋げる。	図書コーナーにて教養サロンを実施し、興味関心、情報共有の場を作る。	4	4.0	優れたCXを提供するために、募集イベントの狙いを明確にする。	5	4	4	4	5	5	5	4.6		
		購入書籍を再検討し、現代社会問題を把握できる書籍を選定する。	4		他課との連携により、本校独自の厳粛な式典を取り行なうことができた。										
管理課	学習環境を整え、学習効果を高める施設・設備の管理を行う。	教室・校内環境の点検を定期的に行い、安全で快適な学習空間を確保する。	4	4.0	学校要覧、星光会だよりを編集し本校の魅力を発信した。	4	4	4	4	5	5	5	4.3		
		ICT機器の充実と管理を進め、教育活動全般での活用を推進する。	4		放課後、教養サロンとして公開授業を実施した。										
教務部	教科の学びの成果が探究学習の中に活かされるよう、魅力のある授業を実践し、生徒一人一人の「深い学び」に繋げる。	高校生Ring等の活動を通して、探究学習の成果の発表及び検証を行う。	4	4.0	購入書籍を新書を中心として行い、社会に目を向けるきっかけを作った。	5	5	4	5	5	5	5	4.6		
		デジタル教材を積極的に活用し、生徒の主体的な学びを推進する。	4		行事前の教室点検を行い学習環境を保全した。										
教務課	ICT機器の効果的な活用・研究および探究的な学習を通して授業改善を図り、充実した学習環境を整える。	デジタル教材の活用により授業改善を図り、PBL型授業を推進する。	4	4.0	情報科と協力してICT機器の管理を行い、利活用の活性化を図った。	5	5	4	5	5	5	5	4.9		
		教科横断的な学びにより、学びに向かう人間性を育成する。	4		SDGs発表会では、高校生Ringや星陵フボなど多くの生徒が発表した。										
教育相談課	生徒や保護者の満足度を高めるため、カウンセラーと連携しながら生徒に適切な支援を行い、安心感を与える。	カウンセラーとの連携を密にし、カウンセリングを円滑に運営する。	4	4.0	スタディサプリを積極的に活用し、学習に取り組む生徒が増加した。	5	5	4	5	5	5	5	4.9		
		担任・学年部と連携し、継続的に適切な支援の実践及び評価を行う。	4		ICT機器・ツールの活用法を共有し、互いの授業力向上を図った。										
法人内連携教育推進課	法人内大学・専門学校と連携した教育活動を展開する。	進路を見据えた高大・高専連携教育を実践し、学びの機会を充実させる。	4	4.0	学内外の発表会を通して多様性について考察を行った。	5	5	4	4	5	5	5	4.7		
		専門的な分野に触れられる機会を充実させ、進路意識の向上につなげる。	4		カウンセラーと連絡を取りながらカウンセリングの運営にあたった。										
グローバル教育推進課	実践的な語学力とグローバル社会で求められるスキル（非認知能力）を育てるため、全校生徒を対象とした星陵型グローバル教育を実践する。口コミで広がる「選ばれた星陵」の価値を確立する。	探究的な学びを基盤とする海外研修を実践する。	4	4.0	連携教育の内容を精査し質の高い講義内容を参加者に提供した。	5	5	4	4	5	5	5	4.4		
		英語力×論理的思考を軸とした教育活動を実践する。	4		教育内容の見直し知識技能の向上を図り内容を充実させた。										
教科	国語	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や創造力を伸ばす。言語感覚を磨き、進んで表現する能力を育成する。	知識・思考力を養う授業として、STEAM教育を展開する。	4	4.0	オリジナル探究ノートを活用し充実した海外研修を実践した。	5	4	4	5	5	5	5	4.9	
			PeerLearningを展開し、表現力・非認知能力を高める。	4		ディベート研修や県大会により実践的な英語及び思考力の強化を図った。									
	地公	社会的な見方・考え方を働かせ、自分事として物事をとらえ、課題を追究したり解決したりする活動を通して主体的な資質・能力を育成する。	様々な角度から非認知能力を養うための授業を展開する。	4	4.0	関係部署と連携し、教育活動の効果的なPRを行う。	5	4	4	5	5	5	5	4.7	
			ICT機器を積極的に活用し、知識・思考力を育成する。	4		様々な場面で思考・表現することの大切さを認知するよう努めた。									
	数学	ICT機器を積極的に用い、視覚的に理解することで、基礎学力の定着を図る。主体的・対話的で深い学びを促し、なぜそうなるのかを問い続ける能力を育成する。	ICT機器で解説動画等を積極的に用い、深い学びのある授業を展開する。	4	4.0	生徒同士のディスカッションを授業多く取入れ、視野を広げた。	5	4	4	5	5	5	5	4.6	
			アクティブラーニングを展開し、探究的な活動を行う。	4		ICT機器の活用を通して、主体性及び技術の向上を図った。									
	理科	ICT機器の活用及びAIを効果的に取り入れ、理科の知識をいかに日常に活かせるかを考察できる学力を身に付ける。	Teamsを活用し、家庭学習における課題の取り組みを双方向で行う。	4	4.0	ICT機器を用いて、生徒の深い学びの促進を行った。	5	4	4	5	5	5	5	4.9	
			実験の目的や手順の意味を理解し、論理的な結果を予測できる能力を養う。	4		オンラインツールを活用した課題配信を行い、双方向学習をした。									
	保体	運動や健康、安全に関する理解と実践を通じて、自主性と協働性を育て、自ら計画的に行動し、社会の健康課題に目を向ける力を養う。	PeerLearningを展開し、課題や役割を明確化し、思考・判断・表現力を高める。	4	4.0	実験器具を充実させ、精度の高い実験活動を展開した。	5	4	4	5	5	5	5	4.7	
			ICT機器を活用し、協働的な活動を多く取り入れ、課題の改善を図る。	4		課題・役割が明確になり、思考力・判断力・表現力が向上した。									
	美術	造形的な見方・考え方を働かせて主体的に取り組む、生活や社会の中の美術文化と関わる資質・能力を育成するとともに、実生活をより豊かにする力を育てる。	生活や社会の中の美術文化と実践的に関わる題材の工夫をする。	4	4.0	ICT活用場面を工夫し、協働的な学びを促進して学習の質を高めた。	5	4	4	5	5	4	4	5	4.4
			資料・ICT機器等を工夫・活用し、課題把握・主体的姿勢の向上を図る。	4		地域や伝統的な造形を生かした題材設定を進めた。									
	書道	書の表現方法や多様性を理解し、自筆能力の向上を図る。書を楽しむ心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	古典臨書を通して、時代性・多様性を学び、様々な書法を習得する。	4	4.0	ICT機器の活用を進めた。共同的な授業をさらに進めたい。	5	4	4	5	4	4	4	5	4.4
			実社会で行われている書式や様式について理解し、書写力を高める。	4		臨書から自筆創作へ生涯学習に繋げる主体的な授業を進めた。									
	英語	従来の英語4技能に加え、Interaction（やりとり）の能力を育成し、総合的な英語力、言語力の向上を図る。	AI学習機能を搭載したアプリを導入し、授業や20分の挑戦で活用する。	4	4.0	実用書写力能力の向上、行書体のリズム構成の体得に努めた。	5	4	4	5	5	5	5	4.4	
			「聞いた内容をまとめて話す」「誰かだ内容を元に書く」といった統合的な能力を育成する。	4		AI教材を1・2年の英数科に導入し、さらなる活用方法を検討している。									
家庭	基礎的な知識を身に付け、自分のライフステージごとの生活の課題や目標を見つけ、家庭生活をウェルビーイングな状態にするよう育成する。	テーマに応じて必要な知識や技能を総合して授業展開を行う。	4	4.0	スピーキングやライティングを充実させ、英語での表現力を高めた。	5	4	4	5	4	4	4	5	4.4	
		基礎的な知識と実習を通して自らの生活に結びつけ、非認知能力を養う。	4		各分野の知識・技能をさらに掘り下げて授業展開を行った。										
情報	生徒の情報リテラシーとICT活用能力を高める授業を展開し、目的に応じたツールの使い方を学ばせ、協働的な学びと情報共有を通じ、社会で求められる力を育成する。	クラウドツールを使った共同レポート作成で、ICTの活用を体得させる。	4	4.0	実習を通して、主体性・協働性など非認知能力を高めた。	5	4	4	5	5	5	5	4.4		
		調べ学習とプレゼン活動を通じて、情報の取捨選択と発信力を養う。	4		リアルタイムな意見交換と効率的な役割分担により協働性が向上した。										
			4	4.0	情報の信憑性を判断する力、視覚効果を意識した表現力が向上した。	5	4	4	5	5	5	5	4.7		

指導部	質の高い授業を展開し、学習管理システムの充実等の学習サポート体制を強化させ、進路実績を向上する。	生徒の興味関心を引き出し、自ら学ぶとする姿勢を醸成する。	4	4.0	積極的・主体的に取り組む姿勢が醸成されている。	5	5	4	5	5	5	5	4.9
		質の高い授業を展開し、知識・思考・応用力の向上を図る。	4		AIを活用した授業展開に取り組み、具体的に展開した。								
		最新の入試を分析しながら、個々に合った進路指導を組織的に展開する。	4		偏差値に偏ることなく、個の特性を見極め、指導に当たった。								
大学進学指導課	校内の進路指導環境を整え、変化の激しい大学入試に対応できる生徒を育成する。	生徒の興味関心を課題設定に繋げる。	4	4.0	高校生Ringに取り組み、生徒の興味関心を学びにつなげた。	5	5	4	5	5	5	5	4.9
		探究活動、星陵ラボ等の活性化を図る。	4		Ringに限らず、さらなる拡張が必要である。								
		進学講座の見直しを行い、生徒にとって満足度の高い講座を実施する。	4		進学講座が効果のあるものになっているか検討した。								
進路課	地元の産業を理解し、社会人として長く地域で活躍できる人材を育成する。	大学入試の出願検討会を実施し、合格精度を高める。	4	4.0	大学の各入学選抜ごとに検討会を実施し、出願校を決定した。	5	5	4	4	5	5	5	4.7
		模擬試験などの分析会を実施し、教員の授業改善につなげる。	4		学校内部での分析会、外部講師を招いての講演会を実施した。								
		企業ガイダンスや地元企業の見学会に参加し、各企業への理解を深める。	4		合同企業ガイダンスや見学会に積極的に参加し、生徒へ情報提供した。								
生徒指導課	生徒が安心安全に学校生活を送れるようにする。	就職希望の生徒との面談を頻繁に行い、生徒の適性を見極める。	4	4.0	面談を定期的に行い、適性を見極め、最適な進路を推奨した。	5	5	4	4	4	5	5	4.6
		生徒指導や交通事故を未然に防ぐよう積極的な呼びかけを行う。	4		自転車集会や朝SHRで交通委員会から交通マナーについて啓発を行った。								
		頭髪検査や登下校指導を計画的に行う。	4		一斉下校や交通事故が起きた際、生徒指導課中心に登下校指導を行った。								
保健体育課	安全な環境を整え、けがや事故の予防に努めるとともに、生徒・職員の健康管理を行う。	施設・用具の点検整備を徹底し、事故を未然に防ぎ安全を確保する。	4	4.0	施設・用具の点検整備を徹底し、事故を未然に防いで安全を確保した。	5	5	4	5	5	5	5	4.9
		授業前の安全・環境配慮を徹底し、衛生管理や健康観察に努める。	4		授業前の安全・環境配慮を徹底し、衛生管理と健康観察に努めた。								
		中高一貫6年教育を見据え、学力の基盤づくりとともに、自己管理能力や人間関係の形成などを育む指導を行う。	4		日常の心がけ(授業集中・挨拶励行・整理整頓)を徹底した。								
中学部	中高一貫6年教育を見据え、学力の基盤づくりとともに、自己管理能力や人間関係の形成などを育む指導を行う。	基本的な生活習慣(挨拶、整理整頓など)と学習習慣を確立する指導を徹底する。	4	4.0	美育行事を中心に行事全般を見直し、活性化を図った。	5	5	4	5	5	5	5	4.9
		美育行事、学校行事、星陵ラボ等の課外活動の活性化を図る。	4		研修やRing・SDG s 発表会を通し、興味のある分野と職業を関連付けた。								
		身近なテーマを出発点とし、それを学問領域や具体的な職業と関連づける。	4		英語検定や漢字検定など将来に役立つ資格を明確にし、支援した。								
高校1年部	興味・関心をもとに主体的な探究を促し、その学びを進路決定に活用する。	進路に応じた資格取得を促し、将来に役立つ実力を身に付けられるよう支援する。	4	4.0	高校生Ringに参加し、新しい価値を生み出す発想について学んだ。	5	5	4	5	5	5	5	4.7
		探究学習を通して、生徒が自ら課題を発見し、主体的に取り組む力を育成する。	4		スタディサプリを活用し、進路に関する理解を深める機会を設けた。								
		ICT教材や授業・講座を通じて、分野横断的な知識と広い視野を育む。	4		総合型・学校推薦型で国公立大学58名の合格者を出した。								
高校2年部	幅広い知識を習得し、物事を多角的に分析・判断する力を養い、変化する大学入試に柔軟に対応できる生徒を育成する。	最新入試状況を分析することにより、各種受験に応じた受験指導を行う。	4	4.0	受験科目に対して個別担当者を決め、受験指導を実施した。	5	5	4	5	5	5	5	4.9
		ICT教材や授業・講座を通じて、分野横断的な知識と広い視野を育む。	4										
		模試結果等を分析し個別指導を充実させることにより合格者を増やす。	4										
高校3年部	大学のニーズと受験生の強みが合致した効果的な受験指導を展開し、希望進路の実現を目指す。	模試結果等を分析し個別指導を充実させることにより合格者を増やす。	4	4.0		5	5	4	5	5	5	5	4.9
			4										
			4										
		平均	4.0										4.7

評価委員のコメント

- ・確実に成果を出されており、富士・富士宮地区でのネームバリューに繋がっていると思われます。引き続き学校の発展のために努めて頂きたいと思います。
- ・学校運営全般について、教育目標に基づいた計画的、着実な取り組みがなされている。
- ・生徒に寄り添った指導や学習環境の整備に向けた工夫が見られる。
- ・教職員の皆様のご尽力が伝わってきます。いつもありがとうございます。
- ・今年度も自転車通学の生徒のマナーは大変良く、小・中学生を優先して通行している。一人一人が強く安全第一をモットーに通学していることが強く感じられる。また、学校側では、多くの行事の際、周辺道路が渋滞しないように、保護者の車の通行に対しても対策を講じている。
- ・先日、小学6年生の「未来の夢」のアンケートを見るがありました。現実的なものや、かわいいいなと思うような夢もありました。ユーチューバー、IT関係など時代を感じる答えと、幸せになりたい、お金持ちになりたいなどもありました。私達の頃は、教師、パイロット、スチュワーデス、お花屋さんなどの夢が多かったと思いますが、そんな夢は一つもなかった事に驚きと共に時代の変化を感じざるを得ません。星陵中学校・高等学校の素晴らしい先生方のご指導のもと、この時代の変化に対応して、学業や活動を通じて共に成長し、いろいろな事に挑戦できる人になってほしいです
- ・特色ある教育によって、R7年度も文武両道の学校として「静岡県に星陵あり!」を示していたと思います。大学への教育実践は素晴らしく、先生方の指導はもちろん、学生さん達のたゆまない努力の賜であり、今後も私学の雄として一層の努力をしていただきたいと思います。一つ気になるのが、HPの更新が若干遅れているいるかな?と思います。私事です但し娘が小2にいて、「にいにの学校へ行きたい」と言っており、5年後に受験して中学校に入学できるよう基礎基本を大切に学ぶを深めていきたいです。一年間皆様お疲れ様でした。